

大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第一號

委員氏名

委員長	伯爵副島 道正君
副委員長	馬場 鎮一君
	志佐 勝君
	男爵坂本 俊篤君
	黒岡 帶刀君
	男爵安藤 直雄君
	鍋島桂次郎君
	室田 義文君
	勝田銀次郎君

大正十三年七月三日(木曜日)午前十時十二分開會

○委員長(伯爵副島道正君) 是ヨリ大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律案特別委員會ヲ開キマス、先ヅ政府委員ノ説明ヲ求メマス

○政府委員(男爵安藤清種君) 説明ヲ申上ゲマス、本日ハ海軍大臣、豫算總會ノ方ヘ出ラレマシタノデ、私、次官政府委員カラ説明申上ゲルコトニ致シマス、必要ガアレバ直グ呼ビニ參ラセマシテ、何時デモ出席ヲ海軍大臣ガ致シマスカラ此段申上ゲマス、此法律案ハ海軍大臣ガ議場ニ於テ御説明ヲ申上ゲマシタ通り、海軍軍備制限ニ關スル條約ノ各條規定ノ中デ國內法ニ依リ禁止又ハ制限ヲ要スル事項ガ色ミアリマスノデ、ソレヲ茲ニ申上ゲマスレバ、第一ガ排水噸ノ三万五千噸以上ノ主力艦ヲ建造スルコトガ出來ナイト云フ制限、是ハ第五

條ニゴザイマス、第二ガ主力艦ニ口徑ノ十六吋以上ノ大砲ヲ裝備スルコトガ出來ナイ、是ガ第六條デゴザイマス、第三ニ排水量二万七千噸以上ノ航空母艦ヲ建造スルコトハ出來ナイ、是ガ第九條ノ第一項ニゴザイマス、ソレカラ第四ニ航空母艦ニ口徑八吋以上ノ大砲ヲ裝備スルコト並ニ航空母艦ノ備砲ノ中デ口徑ガ六吋以上ノモノガアル場合ニハ十門以上ノ大砲ヲ裝備スルコトガ出來ナイ、是ガ第十條デゴザイマス、ソレカラ第五ニ主力艦又ハ航空母艦以外ノ軍艦デ排水量一万噸以上ノモノヲ建造スルコトガ出來ナイ、是ガ第十一條デゴザイマス、第六ニ主力艦以外ノ軍艦ニ口徑八吋以上ノ砲ヲ裝備スルコトガ出來ナイ、是ガ第十二條デゴザイマス、七ニ商船ヲ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ平時之ニ武裝ヲ施スノ準備ヲナスコトガ出來ナイ、但シ是ハ口徑六吋以下ノ砲ヲ裝備スル爲ニ必要ナル甲板ノ補強設備ヲスルコトハ構ハナイト云フコトニナツテ居リマス、是ハ第十四條デアリマス、ソレカラ第八ニ於キマシテ非締盟國ノ爲ニ建造スル軍艦ニ關シテハソレト規定ガゴザイマス、是ガ第十五條デゴザイマス、ソレデ本法律ハ唯今申上ゲマシタ各號ノ禁止又ハ制限事項ヲ未然ニ取締リマシテ、ソレデ條約ニ依リ國際義務ヲ誠實ニ履行シタイト云フノガ目的デ、是ガ起草セラレマシタ次第デゴザイマス、ソレデ此法律案ニ於キマシテ、禁止又ハ制限事項ヲ一々書刻ヘマス形

式ヲ取ラズシデ、第一條ニ於キマシテ第一號ト第二號ニ掲ゲル軍艦ヲ建造スルト云フヤウナ其以下書刻ベタ行爲ハ主務大臣ノ許可ヲ必要トスルト云フヤウニ致シマシタノハ、違反者ヲ未然ニ防ギ、且ツ其調査取締ヲ簡單ニシ、兼ネテ又此條約第十六條ニアリマスル所ノ通報及通知ノ材料ヲ豫メ知ルコトヲ得ル爲ニ外ナラヌ次第デゴザイマス、第一號ハ條約第五條、第六條、第九條ノ第一項、第十條、第十一條及第十二條、第十五條、其規定ヲ實施スルニ必要ナモノデアリマシテ、軍艦ト云フ文字ハ廣ク解釋ヲ致シマシテ、又建造ト云フコトノ行爲ハ「キール」ヲ据ヘマス起工、即チ「キール」ヲ据付ケマシタコトヲ以テ、ソレヲ開始スルト云フ意味ニ致シテ居ルノデアリマス、第二號ハ主トシテ條約第十四條ニ規定シテアリマスル、十四條ノ規定ヲ實施スル爲ニ必要ナ事柄デアリマス、是ハ唯今モ申シマシタ商船ヲ軍艦ニ變更スル爲ニ豫メ補強工事ヲ施ス、ソレハ六吋以上ノ補強工事ヲ施シテハナラヌト斯ウ云フ意味デアリマス、第二條、第三條、第四條ハ第一條ノ施行ニ必要ナ調査及、罰則ニ關スル規定ヲ致サレテアリマスル次第デアリマスル、右様ノ次第デアリマシテ、説明ハ終リニ致シマスルガ、何分一ツ宜シク……

○委員長(伯爵副島道正君) 質問ノアル方ハ此際願ヒマス

貴族院大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第一號 大正十三年七月三日

ト致シマスレバ、ソレハドウ云フコトニ依リマシテ此法案ヲ適用サレノデアリマスカ、之ヲ承リマス

○政府委員(男爵安保清種君) 唯今造テ居リマスルノハ此法律ガ有效ニナリマスレバ其檢査ヲ致シマスル次第デゴザイマス

○勝田銀次郎君 サウナリマスルト云フト、檢査ダケヲスレバ、ソレデ許可ニナルト云フコトニナル譯デゴザイマスネ

○政府委員(男爵安保清種君) 此條項ニ當嵌ッテ居リマスレバ許可ニナルト云フ...

○勝田銀次郎君 若シソレガ違反ガアル...此條項ニ抵觸スルモノガアルトシタ時ニハドウナリマスカ

○政府委員(男爵安保清種君) ソレハ之ニ當嵌ルヤウニ拵ヘテ居リマスガ、實際問題ト致シマシテハアリマセヌノデゴザイマス

○馬場鑓一君 私モ外ニ伺ヒタイ點モアリマスガ、今ノ點ヲ序デニ關聯シテ居ルヤウデスカラ伺ヒマスガ、現在ノ軍艦ヲ建造シテ居ルモノモ本法ニ依ッテ一應許可ヲ受クル手續キヲ執ルノデゴザイマセウカ、ソレトモ尙ホ將來政府ノ命ヲ受ケテ軍艦ヲ建造スル場合ニハドウナルノデアリマスカ、其點ヲ併セテ伺ヒマス

○政府委員(男爵安保清種君) 今日ニ於テ民間デ政府ノ注文以外ニ造ッテ居ル軍艦ハ無イノデゴザイマス、從テ其事ニ付テ細カク規定ハ茲ニシテナイト心得マス

○馬場鑓一君 私ハ無論、民間デ政府ノ注文ナシデ

軍艦ヲ建造スルコトハ恐ラク今後無カラウト思ヒマスガ、現在注文ヲ受ケテ造ッテ居リ、若クハ將來造ルノモ政府ノ注文デハアリマスルガ、建造スルト云フ技術行爲ハ矢張り民間ノ會社ガヤルト云フコトニナルノデ、何カ矢張り一條ノ規定ヲ以テマスルト豫メソレド許可ヲ受クル如ク見エルノデアリマスガ、ソレハドウ云フヤウニ御解釋ニナッテ居リマスカ

○政府委員(男爵安保清種君) 海軍デ或民間ノ會社ニ注文シタ場合ニ、其民間會社ガ主務大臣ノ許可ヲ受ケル必要ガアルカト云フ斯ウ云フ意味デゴザイマスカ

○馬場鑓一君 結局サウデス...チヨット序デニ申上ダテ置キマスガ、勿論政府ガ命令注文ヲ爲サルノデアリマスルカラ、一體、政府ニハ此規定ノ適用ハナイト云フコトハ宜シウゴザイマスガ、政府ガ直營デ爲サル場合ニハ無論關係ガナイノデアリマスガ、民間デ製造行爲ヲヤルノデアッテ、引渡シマスル迄ハ矢張り民間ノ製造行爲デアリ、民間ノ責任デヤッテ居ル會社ノ造ル...サウデアリマスルカラ何カソコニ御説明ガナイト矢張り許可ヲ受ケネバナラヌカノ如ク思ハレルデスカドウデスカ

○政府委員(男爵安保清種君) 民間ノ者ニ政府ガ注文スルノデアリマシテ、其政府ナルモノガ規定ノ條項ヲ心得テ違反シナイヤウナ事柄ヲ心得テ居ルノデアリマスルカラシテ、ソレニ付テ別ニ許可ヲ得ヌデモ宜イ上云フ風ニ心得テ居リマスデスカ...此趣意ガ色ニナ條項ガアリマスルノニ違反スルコトノ無イヤウニ認可ヲ主務大臣カラ受ケルト云フ

趣意デアリマシテ、政府ガソレソレ斯ウ云フ大キサノ斯ウ云フモノヲ造レト云ッテ民間ニ注文シタ其事柄ニ付テ許可ヲ受ケナクテモ宜イヤウニ考ヘテ居リマス

○馬場鑓一君 私御尋ヲモウ少シ續ケテヤリマス、彼ノ華盛頓會議ノ此條約ニ加盟シテ居ル國ノ此條約ニ基ク、即チ本法ニ對應スルガ如キモノノ何カ法律其他ノモノガゴザイマスナラバ御所シテ願ヒマス

○政府委員(男爵安保清種君) 英吉利ニ於キマシテ昨午可ナリ細カイノガ出マシタノハ其規定デゴザイマスルガ、大正十一年ノ七月ニ英國議會ニ於テ英國政府ノ提出ノ華府條約實施ニ關スル法律案ト云フノガ議會デ協賛ヲ經マシタノデアリマスルガ、是ハ六箇條ニ及ビ、附屬章ガ二ツカラ成ッテ居テ、矢張り認可ノ主義ヲ執ッテ居リマシテ、其第一條ニ於テ艦船ノ建造、改造、艦裝、武裝ト云フコト等ニ關係シタ制限及許可手續ヲ規定イタシマシタ、第二條デ罰則ヲ設ケテ、第三條ニ於テ其他ノ法令ト關係ヲ明ニシ、第四條ニ於テ海賊行爲ニ準ジテ處斷セラルベキ場合ヲ規定シ、第五條、第六條ニ於テ法律實施地域及法律施行ノ期日ヲ規定シテ居ル、ソレデ濠洲、加泰陀ニ於キマシテモ同様ノ規定ヲ制定イタシマシタノデアリマス、亞米利加、佛蘭西、伊太利ハ別ニ法律デ制定シテハ居リマセヌノデゴザイマスルガ、亞米利加ノ國務省ノ法律顧問デ、此亞米利加ニ於テモ矢張り理論上英國ノ例ノ如ク政府ノ認可ヲ經ズシテ軍艦ヲ建造シタリ、又ハ是ノ引渡シヲ爲スコトヲ禁止スル法律案ガ

制定サレルノガ必要デアルカモ知レヌト云フコトヲ意見ヲ述ベタコトモアルト云フコトデアリマス

○男爵坂本俊篤君 第一條第二項ニ「主務大臣ハ大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ規定ニ依ル義務ヲ履行スル爲必要アリト認ムル場合ニ於テハ」云々トゴザイマスガ、是ハ大變廻リクドイ書キ方デ、結局ハ是ハ「海軍軍備制限ニ關スル條約ノ規定ニ抵觸スルモノアリト認ムル場合ニハ前項ノ許可ヲ爲ササルモノトス」ト云フ、斯ウ云フ結局ノ意味ニナルコトダラウト思ヒマス、ソレヲ斯様ニ廻リクドク「義務ヲ履行スル爲必要アリト認ムル場合」斯ウ書イタノハ何カ茲ニ意味モアルコトデゴザイマセウカ

○政府委員(男爵安保清種君) 軍艦ヲ建造、商船、船舶ヲ軍艦ニ變更スルト云フ此事柄ニ付テドウ云フ場合ニ此許可ヲ與ヘルカ、斯ウ云フコトニナリマス、此細カイ規定ガゴザイマセヌノデ、許可申請者ガ何デモ彼デモ其軍艦ヲ造ルト云フコトニ付テ、政府ノ方デ許可ヲ、許否ノ權利ヲ振廻ハスト云フヤウナ意味ニ心得ラレテモイケンナイノデ、細カク規定スル方ガ宜カラウト斯ウ云フ趣意デアリマス

○男爵坂本俊篤君 私ノ御尋ネスルノハサウ云フ點デハナイノデアリマシテ、結局、第二項ノ趣意ハ條約ノ規定ニ抵觸スルモノガアツタ時ハ、此場合ニ於テハ前項ノ許可ヲ爲サザルノデアアル、斯ウ云フコトヲ云フタ意味ダラウト斯ウ思フノデ、然ルニ率直ニ左様ニ言ハズニ「條約ノ規定ニ依ル義務ヲ履行スル爲必要アリト認ムル」ト斯ウ態ニ廻リクドク

書イテアルノデアリマスカラ、何カ其間ニハ此義務ヲ履行スル爲必要アリ、又不必要アリ、斯ウ云フヤウナ工合ニ、其間ニ何カ手心デモアルノデアリマセウカ、何故ニ斯様ニ廻リクドク斯ウ書カレタモノデアアルカ、初メカラ條約ノ規定ニ抵觸スルモノガアツタナラバ其場合ニハ前項ノ許可ヲ爲サザルモノト斯ウ云ハレタラ、誠ニ條文モ明瞭デ、其間ニ何等私ノ挾ムヤウナ疑義ガ生ジナイデヤナイカ知ラヌト斯ウ思ヒマスガ、ソレデ何カ此書キ方ニ付テハ意味ガアルノデヤナイカ知ラヌト斯ウ思ハレマスガ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(男爵安保清種君) 唯今説明ヲ申上デマシタノハ此但書ノ趣意ノコトヲ申上デマシタノデ御尋ノ趣意ト幾ラカ違テ居リマシタガ、此廻リクドクト云フ意味ノ方ノ御尋ニ付テハ、別ニ是ハ意味ガアル次第デハナイノデアリマシテ、茲ニ書上デテアル趣意ガ貫徹スレバ宜イト云フ意味ナンドゴザイマス

○政府委員(山本屋藏君) 唯今御説明ニナリマシタノデ、別ニ間違テ居ルト思フ譯デハアリマセヌガ、一應私ヨリ補充イタシテ置キマス、是ハ條約ノ規定ト致シマシテハ、大體ニ於テ國家ガ軍艦ニ付テ、或ハ武裝ノ制限等ニ付テ義務ヲ負フト云フ條約ニナッテ居リマスノデ、正面ノ義務ト致シマシテハ寧ろ國家ガ責任アルヤウニ思ハレマスノデ、國家ガ其義務ヲ完全ニ履行スル爲メニ國內ニ於テ一般人民ニ對シテモ、一般ノ詰リ軍艦製造ニ從事スル者、其他船舶等ノ製造ニ從事スルヤウナ者ニ對シテ、條約ニ規定シテ居ルヤウナ事態ノ生ジナ

イヤウニスル必要ガアルト云フ其方面カラ之ヲ明カニシタイノデ、國家ガ其條約ニ依テ負フテ居ル義務ヲ履行スル爲ニ必要ナ、サウ云フ限度ニ於テ其軍艦ヲ建造スルコトハ、第二項ニ掲ゲマシタヤウナ武裝ノ制限ト云フヤウナコトニ付テ許可ヲシナイト云フコトヲ明カニシテ置カウト云フノデアリマス、直チニ抵觸アリト云フコトハ結果ニ於テ同ジコトニナルダラウト思ヒマスガ、其順序ト致シテ矢張り一應國家ガ負フテ居ル義務ヲ履行スル爲ニ、斯ウ云フ許可主義ヲ執ルモノデアルト云フコトヲ明カニシタノデゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 此第一條ノ第二號ニ「船舶ヲ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ之ニ武裝ヲ施シ又ハ武裝ヲ施スノ準備ヲ爲スコト」斯ウアリマスガ、此條約ソレ自身ハ單ニ武裝ヲ施ス準備ヲ爲スコトダケガ制限サレタノデアリマシテ、船舶ソレ自身ハ軍艦ニ變更スル目的ヲ以テ武裝ヲ施スト云フコトハ條約ソレ自身ニハ何等言明シテ居ラヌノデアリマスガ、サウスルト是ハ華盛頓條約ニ規定シタ以上ニ、之ニ武裝ヲ施スト云フコトヲ更ニ茲ニ掲ゲラレタノデアリマセウカ、ソレヨリ外ニ取レヌヤウニ思ヒマス、條約以上ノコトヲ茲ニ規定サレタモノノヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(男爵安保清種君) 此華盛頓條約ニ於テ斯ウ云フ風ノ事柄ハイケンヌト云フ規定ガゴザイマスルガ、ソレヲ一々六吋以上ハイケンナイ、是ハドウダト云フヤウナコトヲ書上ゲルト云フコトハ却テソレヲ履行、遵奉スルト云フコトノ上ニ混雜ガ起リハセヌカト云フ意味デ、其認可ヲ得ルコト

ニ於テサウ云フコトノ規定ニ違反シナイヤウニ執ルト云フ、斯ウ云フ趣意カラ來マシタ次第デアリマス

○男爵坂本俊篤君 私ノ御尋ネシマシタノハ、チヨットソレトハ意味ガ違ヒマス、華盛頓條約ノ第十四條ヲ是ハ指シタモノデアラウト思フ、此第十四條ニ「武裝ヲ施ス準備ヲ爲スコトヲ得ス」ト斯ウアリマス、準備ノ範圍ダケシカ出テ居ラヌ第十四條ニハ……然ルニ此第一條ノ第二號其前段ニ於テ、武裝ヲ施シトスウアリマス、是ハ條約ノ第十四條ヨリモ餘程進シタコトマデ茲ニ規定サレタヤウニ思フテ居リマス、是ハ殊更ニ條約ヨリ以上ノコトヲ規定サレタノデアリマセウカト云フコトヲ御尋ネシタノデ……

○政府委員(男爵安保清種君) 武裝ヲ施シテハナラヌコトニナッテ居リマス、武裝ヲ施シテハナラナイガ、其準備トシテ或ハ六吋ヲ超エナイ砲ヲ裝備スル爲メニ必要ナル甲板ニ補強工事ヲスルコトハ差支ナイ、斯ウ云フ意味デアリマスカラ、武裝スルコトハイケナイト斯ウ云フ意味デ、其取締ノ意味ニナリマス

○男爵坂本俊篤君 唯私ノ疑ヲ挾ンダノハ、條約ソレ自身ノ第十四條ノ中ニハ、武裝ヲ施スノ準備ヲ爲スコトガ出來ナイト云フコトダケガ制限ニナッテ居リマス、然ルニ茲ニ提出サレタ所ノ案ハ、ソレヨリモ進シテ武裝ヲ施スコトガイケンナイ、ソレカラ又武裝ノ準備ヲ爲スコトモイケナイ、斯ウ云フノデ、準備以上ノ事マデモ茲ニ規定シテアルト云フコトデアリマスカラ、條約ソレ自身ヨリ

モ餘程進シタコトヲ書上デラレタモノデアルト斯ウ解シテ宜シイカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス

○政府委員(男爵安保清種君) 是ハ準備デサヘイケナイノデアリマスカラシテ、武裝ハ勿論イカヌト云フコトハ此條約ノ精神ト云フ風ニ解釋イタシマシテ、以上ト云フ意味デハナイト考ヘテ居リマス

○男爵坂本俊篤君 是ハ條約ノ第十五條ニ觸レタ質問デゴザイマスガ、此事ハ矢張り此法案ノ根本ニナリマスカラ一應御尋ヲ致シテ置ク必要ガアル、此第十五條ヲ見マス締結國ハ非締結國ノ爲ニ軍艦ヲ建造スルコトハ差支ナイト云フコトニナッテ居リマスガ、多分此中ニモサウ云フ意味ニナッテ居ルノダラウト存ジマスガ、締結國間ニ於テ他ノ依頼ヲ受ケテカラシテ軍艦ノ製造ヲスルノハ差支ナイモノト認メテ宜シイノデアリマセウカ、チヨット此十五條ノ文面ノ上ニ於テ明カニソレガハッキリ致シテ居リマセウカラ……

○政府委員(山川端夫君) 十五條ノ解釋ニ付テノ御質問ト承リマシタガ、十五條ニ書イテアリマスノハ、非締結國ノ爲ニ軍艦ヲ製造スル場合ノ制限ヲ是ニハ書イテアルノデゴザイマス、ソレカラ締結國ガ如何ナル軍艦ヲ製造シ得ルカト云フ問題ハ、此條約全體ニズツアチラコチラニ列舉シテアリマス、斯ウ云フ軍艦ハ造ッテ宜イ、斯ウ云フ軍艦ハ造ッテハイケナイ、其締結國ガ造ル場合ニ、自分デ造ッテモ人ニ頼ンデ造ッテモ矢張り同ジヤウナ制限ヲ受ケル、ソレデ其方デ締結國間ノ軍艦制限

ハ付イテ居リマス、デ此處デハ非締結國ニ對シテ軍艦ヲ造ッテヤル場合ニ、締結國ノ軍艦ト同ジ制限ヲ設ケルト云フ趣意ヲ明カニシタ次第デゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 サウ致シマスルト、締結國間ノ間ニモ矢張り依頼ヲ受ケテ軍艦ヲ製造スルコトハ妨ゲナイ、斯ウ云フコトニ解釋シテ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(山川端夫君) サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○黒岡帶刀君 私ハ外務省ノ政府委員ニ質問ヲシタイト考ヘテ居リマスガ、今海軍省カラ配布セラレタ此參考書ニ、海軍軍備制限ニ關スル條約トスウアル、昨年八月十七日ノ官報ニ條約第二號ト云フコトガ書イテアッテ、其中ニ即チ是ガ載ッテ居ルシ、此改正案ノ法律案ニハ即チ並ニ大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ規定、斯ウアリマシテ、實ハ私今朝カラ此事デアラウト斯ウ考ヘテ段々調べテ見マシタガ、矢張り參考書モ即チ條約第二號ト看做シテ宜シイ譯デアラウト斯ウ考ヘテ居リマスガ、外國デ英吉利ヤ亞米利加デハ「フアイブパワースアグリーメント」ト此コトハ言フヤウデス、色々國ニ依ッテ名ヲ付ケテ居ルヤウデアッテ、即チ亞米利加邊リデハ「フアイブパワースアグリーメント」ト云フコトガ即チ此官報ノ條約第二號デアッテ、是ハ茲ニ取りモ直サズ即チ軍備制限ニ關スル條約トカ、此處ニ翻譯書ガ出來テ居ル、同一ノモノデアルト斯ウ私ハ確信シテ居ルノデアリマスカラ、サウマア心得テ調査ヲ致シタノデア

ルガ、ソレカラ此法律案ノ第三條ニ「第一條第一項ノ規定」ト云フコトガアル、是ハ即チ此法律案ノ第一條ニアル所ノ「左ニ掲クル行為ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス」ト書イテアルガ、其中ニハ第一第二ト云フコトガアルガ、此第三條ノ規定ト云フモノハ一ト二ヲ含ンデ居ルモノデアッテ、之ヲ犯シタ者ハ罰ハ皆同ジコトデアッテ、少シモ違ハナイト心得マスガ、如何デアリマセウカ

○政府委員(山川端夫君) 此條約ハ普通能ク五國條約トモ申シマスガ、華盛頓會議ニ於キマシテ五國間ニ出來マシタ條約ハ此外ニモマダ有リマス、ソレカラ五國條約ト言ヒマス幾ラカ誤解ヲ起シ得ル傾モアリマス、ソレカラ華盛頓デ此條約ニ就テ標題ヲ決メマシタノガ、矢張り海軍軍備制限ニ關スル條約ト云フ標題ヲ其當時決メテアリマス、其字ヲ翻譯イタシマシテ、日本語デハ海軍軍備制限ニ關スル條約ト云フコトニ決メマシタノデアリマス、ソレデ御配付イタシマシタノハ唯内容タケデゴザイマシテ、日本デ公布シマシタノハ條約第二號ト公布シマシタ、サウ云フ事柄ハ載ッテ居リマセヌ、内容ハ大正十二年ノ條約第二號ノ内容デゴザイマス

○政府委員(山本屋藏君) 第一條第一項ノ規定トアリマス中ニハ、第一條ノ中ノ第一號及第二號ヲ含ミマシテ、詰リサウ云フ行為ヲ許可ヲ受ケナイデヤッテ場合ト云フ風ナ意味ニナル積リデゴザイマス、即チ第一號及第二號ヲ含メタル第一項ト云フコトニ御諒承ヲ願ヒマス

○男爵坂本俊篤君 此第三條ノ罰則ノコトデアリマスガ、要スルニ之ニ違反シタ事柄ハ軍艦ノ建造ニ關シテハ、噸數ニ違反シタコト、又大砲ナラバ大砲ノ口徑ニ違反シタコト、斯ウ云フヤウナ事柄デアラウト思フ、ソレカラ又船舶ヲ軍艦ニ變更スル事柄ハ第十四條ニ違反シタ事柄デアラウト思フ、違反ノ事柄ハ洵ニ簡單ナ事柄ノヤウニ想像サレルノデアリマスガ、ソレニ對シテ刑罰ノ量定ガ斯様ニ「二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス」トカ、斯ウ云フヤウナ場合ニ範圍ガ非常ニ隔ッテ居ルノハドウ云フ譯デアリマセウカ、又之ニ違反シタルモノト言ッテ其罰ヲ受ケル者ハ誰ガ受ケルノデアリマセウカ、例ヘバ造船會社トシマスレバ會社社長モアリマスケレドモ、或ハ其下ニハ造船所長ト云フ者モアル、違反シタル者ト云フノハ誰ヲ指スコトニナルノデアリマセウカ

○政府委員(男爵安保清種君) ソレハ司法省ノ政府委員カラ……

○馬場鑣一君 チョット其前ニ……先程ノ法制局政府委員ノ御答辯デシタガ、第一條ノ第二項ノアルト無イトデハドレダケノ違ヒガアリマスカ、法律的ニドレダケノ違ヒガアリマスカ

○政府委員(山本屋藏君) 第二項ガアリマセヌデモ政府ト致シマシテ條約ノ義務ニ違反スルヤウナモノヲ許可スルコトハ無イコトガ常デアラウト考ヘマスノデ、其點カラ致シマスルト其點ハ同ジデアラウト思ヒマスガ、第三項ガアリマスノハ、詰リ斯ノ如キ許可ヲ要スルヤウニシタ目的ガ何レニアラカト云フコトヲ明カニスル點ニ於テ、一ツノ

違ヒガアルカト考ヘマス、ソレカラ少クモ第二項ニ掲ゲデアリマスヤウナ事態ニ於テハ許可ヲシナイモノデアルト云フコトヲ闡明シテ居ル點ニ於テ、法律ガソレヲ明カニシテ居ルシテナイト云フ……ソレガ無クテモ許可スル譯デハナイノデアリマスルケレドモ、併ナガラ第二項ハ必ズ其場合ニ於テハ許可ヲシナイモノデアルト云フコトヲ豫メ明文ヲ以テ明カニシテ居ルト云フ效果ガアルノデアロウト思ヒマス

○馬場鑣一君 斯ウ云フヤウナ意味ガ含マレルノデナйкаト想像サレルノデアリマスガ、第二項ガ今ノヤウニ單ニ條約ヲ履行スル爲ノ法律ダト云フ宣言的ノ效果ノミナラズ、唯第一條ノ一項ダケデアルト、主務大臣ノ許可權ト云フモノハ非常ニ廣イ、言ヒ換ヘレバ軍備制限ノ條約ニ適合シヤウガスマイガ、許可ヲ爲スト否トハ自由デアアル、併シ二項ガアルガ爲ニ一項ノ許可權ニ幾ラカ拘束ヲ加ヘテ居ルト云フヤウナ法律的ノ效果ガアルヤウニモ思ハレマスガ、サウ云フコトハ無イノデアリマスカ、言葉ヲ換ヘレバ、一項ダケデアルト云フト何ヲ條件トシテ許可スルノカ、何處マデノ範圍デ許可シ得ルヤ否ヤノ範圍ガ明瞭デナイ、二項アルガ故ニ少クモ此軍備制限條約ニ違反シタルモノハ絶對ニ許可ガ出來ナイト云フ效果ガアルヤウニ思ハレマスガ、サウ云フ意味デハナイノデアリマスカ

○政府委員(山本屋藏君) サウ云フ趣旨ハ無論這入ッテ居リマス、

○馬場鑣一君 其意味デセウナ

○政府委員(山本屋藏君) 大體ニ於テ其精神デ、

第二項ハ此全體ノ規定ノ上デハ非常ニ必要ナル趣旨ヲ持ッテ居ルモノデアルト考ヘテ居リマス

○勝田銀次郎君 第一條ニ主務大臣トアリマスノハ、第一ノ軍艦ノ方ハ海軍大臣ト解釋ヲシテ宜イ譯デアリマスガ、第二ノ船舶ヲ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ云フモノニ對シテハ、是ハ主務大臣トナルト、ドノ大臣デスカ、之ヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(男爵安保清種君) 矢張り此二號ノ武裝ヲ施シ又ハ武裝ヲ施スノ準備ト云フコトニ付テノ事柄モ、海軍大臣ガ主務大臣ト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○勝田銀次郎君 從來トモ矢張り商船ニ大砲ヲ置クト云フヤウナ場合ニ於テノ檢査規定ハ、總テ海軍大臣ノ方ニ於テ御監督ニナッテ居ルデアリマセウカ

○政府委員(男爵安保清種君) 捕鯨船デアリマスルトカ、海賊ニ對スル爲ニト云フヤウナノデ、戰訓ヲ目的トシテ居リマセヌ或ル大砲ヲ載セルト云フコトハ、海軍大臣ノ方ガ認可スルト云フ意味ニハナッテ居リマセヌ

○委員長(伯爵副島道正君) 先程坂本君ノ御質問ニ對シテ司法省ノ政府委員ガ見エマシタカラ、モウ一邊……

○男爵坂本俊篤君 先ヅ以テ御尋ネ致シタイノハ、此刑罰規定ガ第三條四條ニアリマスガ、之ニ對シテハ司法大臣ノ副署ガ玆ニ見エテ居リマセヌガ、是ハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(山岡萬之助君) 此法律關係ハ軍艦ヲ建設シ若クハ變更スルコトヲ本體ト致シテ居ルコ

トハ申上ダルト迄モナイコトデアリマス、其本體ニ對シ取締ヲスル罰則ヲ付ケタダケデアリマシテ故ニ、主務主務省ニ於テ全責任ヲ持ツベキ次第デアリマス、罰則ノ關係ハ之ヲ小サイ例ニ取リマスレバ、各省ニ於テモ罰則ヲ制定スルコトハ出來マサルカラ、其罰則ガ法律ヲ以テシナケレバナラヌ強イ程度ノモノデアリマスルケレドモ、罰則ヲ付ケタル一事ヲ以テ司法大臣ガ常ニ責任ヲ其法律ニ付テ持ツベク副署スルト云フコトハ必要デナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵坂本俊篤君 ソレハ唯今御出席ノナイ前ニ同ノタノデアリマスガ、尙ホ繰返シテ申上ゲマスガ、此第三條ノ罰則ハ此法案ノ第一條ノ事柄ニ關係スルコトデアリマス、而シテ其第一號ニハ軍艦ノ建造ニ關スルコト、ソレデソレガドウ云フコトデアルカト云フト、華盛頓條約ニ關スル限リニ於テハ排水量ノ噸數ヲ規定シテ、ソレニ違反シナイコト、ソレカラ第二號ハ船舶ヲ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ云々、華盛頓條約ノ第十四條ノ事柄デアリマス、事柄ハ極メテ簡單ナコトデアリマスルニ拘ラズ、此ノ第三條ニ於テ其罰則ニ於テハ刑罰ヲ二年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ト云フヤウナ、斯様ニ開キノアリマスルコトハドウ云フモノデアリマスガ、何等カ其間ニ犯罪ノ……斯様ナ事柄ト云フヤウニ想像ヲサレテ斯様ニ此刑罰ノ刑量ヲ規定サレマスノデアリマスガ、チヨットソコニ疑ガアル、ドコカラ此刑量ガ割出サレタノデアルカ

○政府委員(山岡萬之助君) 御尋ノ趣旨ハ罰則ヲ

附ケルニ付テハ慎重ナル態度ヲ執ラナケレバナラヌト云フコトデアリマスルガ、我國ノ刑罰規定ノ關係ヲ一言申上ゲマスレバ、御了解ヲ得ルコト思ヒマス、舊刑法ト異リマシテ、現行刑法ハ刑ノ範圍ヲ擴大イタシマシテ、デ各場合ノ最も適當ナル刑ヲ量定スルコトガ出來ル立前ニナッテ居リマスル、此點ハ今日ノ諸外國ノ法律トハ餘程變テ居リマス、殊ニ英米ノ法律トハ一層變テ居ル次第デアリマス、ソレデアリマスカラ本法ニ於キマスル罰則ノ制定ニ付キマシテモ、極メテ廣ク規定イタシマシタノデ、輕キハ罰金ヲ以テ處斷スル、重キハ二年以下ノ懲役ヲ以テ之ニ臨ム、斯ウ云フ事ニナッテ居リマス譯デゴザイマシテ、而シテ此二年ト云フ範圍、又二千圓ト云フ所ハドウ云フ方針ヲ以テ決メラレタカト云フコトニナリマスレバ、是等ノ事項ヲ取締ルニハ此程度ヲ以テスレバ宜カラウ、斯ウ云フコトヲ申上ダル外ハナイノデアリマス、二千圓ガ適當デアルカ、三千圓ガ適當デアルカ、或ハ千圓ガ適當デアルカ、或ハ三年ガ適當デアルカ五年ガ適當デアルカト云フコトハ、各個ノ各場合ヲ考慮シテ決定イタシマスル譯デアリマシテ、本法ノ事項ニ付キマシテハ二年以下ノ懲役ヲ以テ之ヲ取締ルニ十分ナリト考ヘマシタ譯デアリマス、而シテ低キハ一箇月ノ懲役禁錮ニナル、サウ云フ次第デアリマスルカラ、各場合ニ適當ナル刑ヲ之ニ依テ量定スルコトガ出來マスル爲ニ、斯ノ如ク規定イタシタ次第デアリマス

○馬場鑒一君 先刻、阪本男爵ノ御尋モアッタヤウニ存ジマスガ、幸ヒ司法省ノ御方ガ御出デニナリ

マシタカラ伺テ置キマス、此罰則ノ規定ヲ見マス
ルト、所謂行爲者ヲ罰スルト云フコトニナッテ居リ
マスノデスガ、一條ノ一號ニ多クハ寧ロ斯
ウ云フ事實ガアリトスレバ、法人デアラウト、即
チ會社デアラウト、即チ其會社ガ許可ヲ受ケルト
云フコトニナルト思フノデアリマスガ、而シテ其
違反ガ行爲者處罰ト云フコトニナルヤウニモアル
ガ、其關係ハ此儘デ宜イデアリマセウカ

○政府委員(山岡萬之助君) 御尤ナ御尋デアリマ
ス、本法ヲ適用イタシマスル第一條ノ關係ハ、大
體法人デアアルノデアラウト思ヒマス、サスレバ法
人ニ對スル取締ヲ規定セズシテ、行爲者ヲ罰スベ
キ形ニ於テ規定シタト云フコトハ如何デアラウカ
ト云フコトノ疑點ハ、直チニ起キテ參リマス譯デ
アリマス、ソコデ此罰金ヲ以テ臨ムコトニナッテ居
リマスルノデ、勿論法人ニ對シテ之ヲ罰スベキ規
定ヲ置クコトガ適當デアリマセウト思ヒマスガ、
此事項ヲ取締リマスニハ罰金デハ十分デナクシテ
體刑ヲ用ヒナケレバナラヌト、斯ウ云フコトニナ
テ參リマシタノデ、サウナリマスレバ此法人ニ體刑
ヲ科スルト云フ譯ニハ參リマセヌ、ソレ故ニ行爲者
ヲ罰スルノ外ハナイノデゴザイマシテ、ソコデ行爲
者ヲ罰スルト致シマスレバ、法人ノ業務執行者ノ
誰ヲ罰スルノデアアルカト云フ問題ニナリマスル、
御問ノ趣旨ハソコマデ進ンデハ居ラナカッタヤウ
デアリマスガ、ソレハ行爲者ヲ罰スル譯デアリマ
スルカラ、法人ノ重役其他従業員現ニ行爲ヲナシ
タ其人ヲ罰シマスルノデ、之ニ依テ取締ガ足リル
カ否ヤ、例ヘバ社長ハ罰スルコトハ出來ヌ、取締役

ニ及ブ、ソレハマアソレデ大抵満足スルデアラウ
ガ、ソレニアラズンテモト低イ所ノ、極ク低イ番
頭手代ト云ッタヤウナ者ヲ罰スルト云フヤウナコ
トニナリマシタナラバ、取締ハ付クカドウカ、斯
ウ云フ疑點ガ直グニ起キテ參リマス、ガ兎ニ角許
可ヲ得ル關係ト云フモノハ重大ナル事項デアリマ
シテ、番頭ヤ手代ノ如キ者ハ事實上、是ハナサヌ
者デアラウ、大體左様ニ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、現ニ行爲ヲナシタ人ノ一切ヲ罰スル次第デア
リマス

○馬場鑛一君 唯今ノ御説明デアリマスルガ、
法人ガ……會社ガ會社トシテ許可ヲ受クベキヤウ
ナ場合ニ、其或場合ガ、職工ノ如キ者ガ違反スル
ト云フコトガ有リ得ル、本法ノ場合ニ於テ……其
所謂職工ヲ罰スルト云フヤウナ例ハ他ニ有リマセ
ウカ、私ハ寧ロ異例ノ場合ノヤウニモ思ハレマス
ガ、何カ是ノ先例ニナル如キモノガアラバ寧ロ御
示シテ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(山岡萬之助君) 法人ノ關係ニ於テ體
罰ヲ科シマシタル事例ト云フモノガ澤山アルト云
フコトハ申上ゲラレナイ、デ今直接ニドノ例ガア
ルト云フコトハ調査イタサナイノデアリマシテ申
上ゲ兼ねマス、ガ刑法ノ總テハサウ云フ立前ニア
リマスルノデ、今度ノ刑法ハ……現行刑法ニハ取
締規定ト云フモノハ割合少イノデアリマス、舊刑
法ニハ澤山取締規定ガアリマシテ、其場合ニ於テ
之ヲ適用スルノニハ矢張り行爲者ニ適用スルノデ
アリマシテ、法人ガ違反シタ場合ニハ、現ニ行爲
ヲナシタ人ヲ罰シテ行ク譯デアリマス、サウ云フ

次第デ、私共ノ方ニ於テハ、之ヲ法人ノ行爲ニ關
シテ、現ニ爲シタ人ヲ罰スルコトニ於テ問題ニシ
テ居ラヌノデアリマス、唯刑罰ガ罰金デハ足ラナ
イ、體罰ヲ用キナケレバナラヌノデアアル、斯ウ云
フ所ガ是ハ立法上疑點トナッテ、問題トシテ研究サ
レマシテ、海軍當局ニ於テモ斯ノ如クナケレバナ
ラナイト云フ趣旨デアリマスカラシテ、然ラバ法
人ノ處罰ト云フコトハ出來ナイ、既ニ法人ノ處罰
ガ出來ナイト云フ以上ハ斯ノ如ク規定スル外ハナ
イ次第デアリマス、尙ホ特ニソレガ御必要トアラ
バ取調ヲ致シマスデゴザイマス

○馬場鑛一君 モウ一ツ伺ヒマス、元來今先例ト
申スヨリモ此法律ノ如キ立法ノアルノハ英吉利タ
ケデアルト云フ位デ他ノ所謂條約加盟國ノ立法ノ
例モナイヤウニ先程ノ御説明ガアツタ位デ、私共カ
ラ云フト實ハ軍艦ヲ建造スルトカ、或ハ船舶ヲ軍
艦ニ變更スル目的ヲ以テ武裝ヲ施スト云フコトハ
政府ノ命令ノアル場合デナケレバ恐ラクハ實際ニ
ナカラウト思フヤウナ問題デアリマス、ソレヲ既
ニ斯様ニ書キ上ケテ見タ場合ニ體罰ヲ科サナケレ
バ實行ガ出來ナイ、即チ法人以外ノモノニ付テ寧
ロ行ハル、ガ重モデアアルカノ如キ立法ヲスル必要
ハ何處ニアリマスカ、實際ノ必要ハ何處ニアリマ
スカ

○政府委員(山岡萬之助君) 實際ノ必要アリヤ否
ヤノ點ニ付キマシタハ先ニ段々申上ゲマシタヤウ
ニ第一條所定ノ事項ヲ取締ルニハ斯ノ如クナケレ
バナラナイト云フ議ヲ決シマシタコトニ基キマス、
其議ヲ決スルコトガ適當デアッタカ否ヤト云フコ

トハ意見ノ相違ニナリマスガ、原案ニ於テハ之ヲ必要ナリト考ヘマシタ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○馬場鑛一君 必要アルコトハ之ニ書イテアルコトヲ解ルガ、ドウ云フ意味デ必要ガアルカト云フコトヲ海軍當局カラ伺ヒタイ

○政府委員(男爵安保清種君) 參事官ニ説明サシタイト思ヒマスガ……

○委員長(伯爵副島道正君) 政府委員以外ノ者ニ説明ヲサシタ例ガアリマスガ……

〔有リ〕ト述フル者アリ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵副島道正君) 御異議ナイト認メマス

○説明員(榎本重治君) 今御質問ノヤウニ此例ハ實ハ立法トシテハ英吉利ヲ除クノ外ハゴザイマセヌガ、此條約ヲ海軍ト致シマシテハ最モ誠實ニ履行シタイト云フ精神ニ基キマシテ作タ次第デアリマス、罰則ノ問題ニ付キマシテ特ニ體罰ヲ加ヘタノハドウ云フ譯デアアルカト云ヒマス、單純ニ財罰タケデハドウモ十分其目的ヲ達シ得ラレナイデハナイカ、斯ウ云フ風ノ重大ナル條約上ノ義務ヲ履行スル上ニ於テ目的ヲ立派ニ貫徹スル上ニ於テハ矢張り相當嚴重ナル罰ヲ設ケテ置イタ方ガ宜クハナイカト云フヤウナ趣旨ノ下ニ作タ譯デアリマス

○馬場鑛一君 餘リ御説明トシテハ承服出來カネマスガ是以上ハ意見ノ相違ノヤウデアリマスカラ控ヘマス

○男爵坂本俊彥君 只今ノコトニ關聯シテ少シ質問シテ見タイト思ヒマス、元々此刑罰ノ適用ハ必要トスルノハ如何ナル事柄ニ對シテ必要カト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、事柄ハ第一條第一號ノ軍艦ノ建造デ、是ハ排水量ガ規定ノ二萬噸トカ、或ハ一萬噸トカ云フコトニ違反シタ場合ノコトヲ想像シタモノデアラウト思フ、或ハ大砲ナラバ口径十六吋、若クハ八吋ヲ超過シタト云フヤウナマア極ク大キナ事柄ニアルノデアリマス、第二號ノ方ハ是ハソレ程大キイコトデハアリマセヌガ、船舶ヲ軍艦ニ變更スルト云フガ如キ矢張り、是モ事柄トシテハ大キイ事柄デ、ドウシテモ之ニ違反スルト云フコトヲ想像スル時ニハ會社社長トカ、或ハ造船所長トカ云フ人ガ、其ノ規定ニ背イテ之ヲ行タトカ、或ハ是等ノ軍艦ノ計畫上ニ違反シタトカ云フ事柄デアラウト思ヒマス、サウ致シマスルト、何カ職工ガ違反シタトカ或ハソレ以上ノ技師達ガ違反シタトカ云フヤウナ、サウ云フ場合ヲ想像スルコトガ出來ナイノデアリマスガ、ドウシテモ若シ體罰ヲ科スルト云フヨウナ場合ニハ造船會社ノ社長デアルトカ乃至ハ造船所長デアルトカ、云フヤウナサウ云フ所ヘ落チテ來ルヨリ外ニ想像ガ出來ナイノデアリマス、デ唯今此刑罰ハ如何ナル場合、如何ナル人ニ適用スルカ云フコトニ付テノ御議論デアリマスルガ、此ノ刑罰ヲ適用スルコトノ事柄ヲ想像イタシマスルト、斯様ナ範圍ハ出ナイカト考ヘルノデアリマス、デ具體的ニ申シマスレバ、左様ナ場合ニハ社長ヲ罰スルノデアリマセウカ、或ハ造船所長ヲ罰スルノデアリマセウカ、所謂違反シタル者ト云フ者、

如何ナル者ヲ指スノデアリマセウカ、凡ソ實際ニ付テ此適用ノ起ル場合ハ誰ヲ想像サレタモノデアリマセウカト云フコトヲ、是ハ司法當局ナリ又ハ海軍當局ナリ何レカラデモ宜シウゴザイマスカラ、モウ少シ理解ノ出來マスヤウニ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(山岡萬之助君) 唯今坂本男爵ヨリ具體的ニ御尋ネガアリマシタノデ、御趣旨ニ從テ答辯申上ゲタイト思ヒマス、先ニ申上ゲマシタ所ハ法ノ單純ナル理論ノ運用ノコトノミデアツマッタノデアリマスガ、是ガ具體的ノ行為ニ現ハレマス上云フト、主務大臣ニ許可ヲ受ケナイデ軍艦ヲ建設スルト云フコトニナリマスレバ、法人ノナシマス時ニハ法人ノ指揮者ガ行動ヲ執ルコトデアリマス、其指揮者ガ何人ガ立ッノデアアルカト云ヘバ、社長ノ立ッ場合モアリマセウシ、或ハ取締役ノ立ッ時モアリマセウ、若クハ支配人ノ立ッ時モアラウ、デ會社ガ軍艦ヲ建設シ或ハ船舶ヲ軍艦ニ變更スルト云フガ如キ指揮ヲスルコトハ、ソレハサウ末輩デハ出來ナイ必ズ相當ナ地位ニアツテ平素業務ニ對シテ指揮ヲナスコトノ出來ル人デナケレバナラス、其人ガ指揮ヲシテソレカラ現ニ軍艦ヲ建設スルト云フ場合ニ於テハ數十人、數百人ト云フモノガ關係シテ參ルコトニナリマス、ソコデ指揮ヲシタモノハ如何ナル場合ニ於テモ其刑罰ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌノデゴザイマス、例ヲ騷擾罪ニ取リマス上云フト首魁ト云フ者ガ何時デモアリマシテ、其首魁者ハ最モ重キ刑ヲ以テ之ニ臨ムノデアリマス、又一方ヲ指揮シ統率シタト云フモノハソレニ次イデノ責任ヲ持チマス、デ軍艦ヲ建設スルニ付テモ大體ソレ

ト同様ナコトデアリマシテ、上ノ指揮者ガ最も重キ刑ヲ受ケ、之ニ次イデ局部ヲ擔當シタ者ガ次ノ責任ヲ持チマス、其末輩ノ職工ニナリマス。ト云フト情ヲ知ラズニ關與イタシマスレバ騷擾罪ノ矢張り責任ヲ持チマス、其責任ヲ持タナケレバナラヌ、斯様ナ次第デアリマスルガ、唯茲ニ附加ヘテ特ニ中上ゲテ置キマス、指揮ヲ受ケテ從務シタ所ノモノガ大臣ノ許可ヲ得テ居ルカ、得テ居ラナイカト云フコトハ、先ヅ多クノ場合ニ於テハ知ラヌノデアリマセウト思フ、造船會社ニ於テ此船ヲ造ルノダ、斯ウ云フ場合ニ於テ海軍大臣ノ許可ヲ受ケテ居ルモノデアルカ、受ケテ居ラヌノデアルカ、末輩ノ職工ガ之ヲ知ラス。ト云フコトガ先ヅ普通デアラウト考ヘマス、デアリマスルカラシテ末輩ノ職工ノ如キハ多クハ犯意ナキ理由ヲ以テ免責サレルモノデアラウト思ヒマス、取締役ニ次イデノモノデアアルナラハ其情ヲ知テ居ル所ノモノガ可ナリ多カラウト思フ、情ヲ知テ居ル時ニノミ處罰スルノデアリマスルカラ、結局刑罰ガサウ恐ロシク不都合ナ結果ハ思ハレマセヌノデアリマス、尙又職工ガ情ヲ知テ即チ是ハ許可ヲ得テ居ラステレドモ非常ナル利益ガアルカラシテ急ニ拵ヘテ仕舞ヘト云フヤウナ如キ二項ヲ適用スル場合ガアルノデアリマス、船舶ヲ十日内ニ建造シテ仕舞ヘト云フヤウナ場合ニ、澤山ナル給金ヲ拂フテサウ云フ急ナ仕事ヲサス、斯ウ云フ場合ニハ末輩ニ至ルマデ責任ヲ持チマスノデアリマス、唯併シ單純ナ利益ノ爲ニヤ。タト云フガ如キニ過ギマセヌモノハ、是ハ昨年制定シマシタル刑事訴訟法ニ於

テ起訴スレト否トハ檢事ノ隨意ニ依テ情狀ヲ以テ決定スル。ト云フコトニ法文上ナッテ居リマスルカラ、其情ニ於テ檢舉スルコトガ適當デナイ低イ所ノモノハ檢舉シマセヌノデアリマス、今日騷擾罪ノ扱デモサウデアリマシテ末輩ノ如キハ多ク檢舉シテ居リマセヌノデアリマス

○男爵坂本俊篤君 此第二條ニ必要アル場合ハ當該官吏ハ調査ヲナスベク造船所其他軍艦船舶等ニ立入ルト云フコトガゴザイマスガ、是ハ隨分軍艦船舶、其他工業ニ關スルコトニ付テハ秘密ト云フヤウナモノヲ保護スル、利益ヲ保護スル。ト云フコトガ工業界ニハアルノデアリマスガ、是等ハ其場所ニ何等立會等ヲ要求セズ這入りマシテ検査ヲスルト云フヤウナコトガ許サレル譯デアリマスガ、サウ云フ利益ヲ保護スル。ト云フヤウナコトニ付テハ何等御考ハナカッタノデアリマセウカ、ソレ等ハ無頓着ニヤ。テモ宜イト云フコトデアリマスガ

○政府委員(男爵安保清種君) 取調ノ必要アル爲ニ派遣シテ調査ヲスルト云フコトガソレガ爲ニ非常ナ不利ヲ來スカラウト云フ意味ノコトニ付テハ考ヘテハゴザイマセヌ

○男爵坂本俊篤君 不利ヲ來スト云フコトハ調査ヲナス方ノ側デハナクテ、寧ロ其船舶ヲ製造スル所ノ會社ノ方ノ側ニアルノデアリマスガ、是等ハ相當ニ立會ヲ許シテスルノデアリマセウカ、ソレ等モサウ云フコトヲ許サズニ勝手ニ場所ニ立入ッテ之ヲ検査スルト云フノデアアルノデアリマスガ、多少其邊ノ所ノ會社側ノ利益モ損害サレル。ト云フコトノ意味ヲ考ヘテ居ラレルノデアリマセウカ、

ト云フコトヲ御尋シタイ

○政府委員(男爵安保清種君) 其調査ノ方法デゴザイマスデスナ

○男爵坂本俊篤君 左様デス

○政府委員(男爵安保清種君) 是ハ條約履行ノ爲ニ必要アレハ或ハ立會セズニスルコトモアラウカト存ジマス、又立會セテモ一向差支ナイ、斯ウ考ヘマス

○男爵坂本俊篤君 此法案ノ中ニハ先刻政府委員カラノ説明ガアリマシタ、條約ノ第十六條即チ締盟國ノ爲ニ軍艦ヲ製造スルニ云々ト云フコトニナッテ居リマスガ、其中ニハ締約國ノ法域内ニ於テト云フコトガゴザイマスガ、此法域内ト云フコトニ付テハ、關東州邊ヲモ皆此中ニ這入ッテ居ルモノト考ヘテ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(山本犀藏君) 是ハ大體ニ於キマシテハ内地ヲ目的トシテ居リマスノデ、南洋廳其他ノ關東廳等ニ付キマシテハ更ニ適當ナル方法ヲ執ル考ヘデゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 サウ致シマスル。ト條約ノ所謂法域内ト云フモノノ中ニハ關東州邊ハ這入ッテ居ラナイト、斯ウ云フ御答ト承知イタシテ宜シイノデゴザイマスガ

○政府委員(山本犀藏君) 法域内ニハ這入ッテ居ルノデアリマス

○男爵坂本俊篤君 關東州ガ法域内ニ這入ッテ居ルト云フコトハ御解釋ノ通りト承知シテ居リマスガ、此法律案ニ關係スル範圍ニ於テモ矢張り法域内ニ關東州ガ這入ッテ居ルモノト見テ宜シイノデ

ゴザイマセウカ、如何デスカ

○政府委員(山本屋藏君) 此法律ニ於キマシテハ規定イタシテ居リマスル如ク主務大臣ニ於テ監督シ得ル範圍内ニ於テノコトヲ先ヅ規定シテ居ルノデゴザイマス

○男爵坂本俊篤君 チョットマダ了解ガ行キマセヌガ、此法律案ニ關スル限り矢張り此法域内ト云フモノノ中ニハ關東州モ這入ッテ居ルノデアリマスカ、無イノデアリマスカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(山本屋藏君) 條約ニ規定イタシテ居リマスル法域内ニ於テ國ガ義務ヲ負フテ居ルト云フ意味ノ法域ト云フ中ニハ内地ハ勿論ノコト、其他日本ノ統治權ガ及ンデ居リマスル南洋、關東州ヲモ包含シテ居ルノデゴザイマスケレドモ、此法律ト致シマシテハ、是ハ大體ニ於テ内地ヲ法域トシテ居ル法律デゴザイマスルノデ、南洋、關東州等ニハ更ニ此法律ニ依ルモノデアルト云フ勅令ヲ發布スル豫定ニナッテ居リマス

○馬場鑓一君 チョットモウ一點伺ッテ置キタイ、條約局長ニ御尋ネシタイノデスカ、此十四條ニハ平時之ニ武裝シ得ル準備ヲ爲スコトヲ得ズ、此第一條ノ第二號ハ戰時平時共ニ之ニ據ラナケレバナラスト云フコトニナリマスカ、此條約十四條ト第一條ノ二號ノ關係デアリマス

○政府委員(山川端夫君) 條約ノ十四條ノ方ハ平時ニ於テノ行爲ヲ見テ居ル、平時ニ武裝ヲ施スノ準備ヲ爲スコトハ出來ナイト云フダケノ規定、ソレカラ此法律第一條ノ方ハ先ヅ平時モ戰時モ總テ主務大臣ノ許可ヲ受クベシト云フ意味ニナルコト

ト思ッテ居リマス、ソレデ尙ホ平時ノ武裝ノコトニ付キマシテ先程大分御意見ガアリマシタガ、條約ノ趣意カラ申シマスレバ、平時ニ……今日商船ニ武裝スルト云フコトハ殆ドヤッテ居リマセヌ、ソレデ平時カラ戰時ニナッテ直ニ武裝シ得ル準備ヲナスコトヲ禁ズルト云フ、此普通有リ得ベキ行爲ヲ是ニ禁ズルト云フノガ十四條ノ趣意デ、ソレデソレニ唯必要ニ……日本デ取締ヲ爲ス上ニ於テハ、唯準備及ビ是ノ武裝ハ勿論兩方共禁ズルト云フ趣意ヲ掲ゲテ居ルノデスカ、又法律ノ方ハ戰時モ平時モ共ニ適用サレルモノト思ヒマス

○馬場鑓一君 ソコデ私ハ自分ノ分ラナイ點ヲ御教ヘヲ請ヒタイノデスカ、商船ガ戰時ニ於テ多少ノ武裝ヲスルト云フコトハ能ク聞ク話デアリマスカ、ソレハ軍艦ニ變更スル目的トハ思ハレナイノデアリマスカ、斯様ナ場合ニハ許可ハ要ラヌ、斯ウ云フ御解釋ニナッテ居ルモノデアリマセウカ

○政府委員(男爵安保清種君) 今ノ御尋ハ戰爭ノ目的デナイ武裝ハシテ宜イカ、斯ウ云フ御尋ネ……

○馬場鑓一君 左様デアリマス

○政府委員(男爵安保清種君) 茲ニアル規定以内ノ意味デアリマスカ、六時……戰時ノ御話デアリマスカ

○馬場鑓一君 イヤ私ノ伺ッタクハ戰時ニ能ク商船ガ武裝スルト云フコトガアリマス、ソレハ船舶ヲ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ武裝ヲ施スモノト思ハレヌノデアアルガ、ソレハドウナルノカト云フノデスカ

○政府委員(山川端夫君) 戰時商船ガ武裝スルト云フコトハ大變面倒ナ問題デアリマス、隨分問題ガアリマス、如何ナル程度ノ武裝ヲ施セバ之ヲ軍艦ト認メルカト云フコトニ結局ナル、此歐羅巴大戰ニ於キマシテモ、其點ハ大變面倒ナ國際間ノ問題ニナリマシタ、ソレカラ從來ノ國際法上ノ慣例カラ云ヒマシテモ、戰時ニ於テ或程度ノ武裝ヲ商船ニ施スコトハ必ズシモ禁ジテ居ナイ、唯潛水艦ガ出來タリ何カ致シマシテ、武裝ノ範圍ノ問題ガ大變ヤカマシクナリマシタ、ソレデ或一定ノ武器ヲ使ヘバ、商船ノ自衛ノ爲ノ武裝ニ止マラズシテ、ソレヲ直チニ軍艦トシテ使フ爲ノ武裝デアルト云フコトノ議論ガ起ッテ來ルノデアリマス、ソレデ先ヅ大戰中ニ於キマシテハ、此純然タル自衛ノ關係ニ於テ、又六時以下位ノモノデ極ク僅カデスカ、少數ノ大砲ヲ備ヘル、而カモ初メノ間ハ、前ノ方ヲ向イテハ打テナイヤウニ、後ロノ方ニ打テルト云フヤウナ裝備ヲ爲シタモノハ、自衛的ノモノデアッテ、ソレハ直チニ軍艦トシテ見ナイト云フヤウナ話合ヒモ亞米利加ト聯合國ノ間ニハ出來上ッテ居タノデアリマス、併シサウ云フコトハマダ確定的ノモノデモアリマセヌガ、マア大體サウ云フ自衛的ノモノデアッテ、小サナ大砲ヲ少ク使ッテ居レバ、必ズシモソレヲ軍艦ト見ナイト云フヤウナ慣例ガ先ヅ出來上ッテアルモノト見テ差支ナイト考ヘマス、デ此條約ノ趣意ガ六時以下ノモノト云フコトヲ許シテ居ルノデ、六時以下ノ大砲ヲ備ヘル準備ヲ爲スコトヲ許シテ居ルノハサウ云フ趣意カラ出テ來タモノト了解シテ居リマス、戰時ニ、商船ノ

自衛ノタメ極ク僅カバカリノ、又大シタ武力ノナ
イ大砲ヲ積ムト云フコトハ、之ヲ許シテ居ル認メ
テ居ル、ソレヲ以テ直ニ軍艦ト見ナイ、商船ノ資
格ヲ持ッテ居ルモノト見ル、併シソレ以上ノモノ
ハ、商船デハ、何ト辯解イタシマシテモ、備ヘテ
居ル所ノ大砲ノ武力、其他カラ見マシテ、ソレハ
矢張り軍艦ト同一ノ働キヲナスモノダト認メルト
云フヤウナ關係ニナッテ居ルト思ヒマス

○馬場鎮一君 サウスルト何デスカ、大體六吋以
下ノ砲ヲ裝備スル程度ノモノナラバ、商船ニ武裝
シテモ軍艦ニ變更スル目的ヲ持ッタモノデナイ、斯
ウ云フ意味ニ……法律モ其積モリデ居ルノデアリ
マスカ、此法律ノ第一條ノ第二號ハ其意味デアリ
マスカ

○政府委員(山川端夫君) 法律モ矢張り此第二號
ニ於キマシテ、海軍軍備制限ニ關スル條約ノ規定
シテ居ル意味ヲ實行スル意味ノ程度ニ於テ取締ル
ト云フノデアリマス、ソレデ軍備制限條約ニ於テ
認ムル事柄ハ、勿論此法律ノ關係カラ云ヒマス
差支ナイト思ヒマス

○男爵坂本俊篤君 先刻山川局長カラ此法律案ノ
第一條ニ規定シテアリマス所ノモノデ是ハ戰時ト
平時ヲ問ハズ、兩方合シテ居ルト云フヤウニ説明
サレタヤウニ聞キ取リマシタノデスカ、一寸私ハ
サウ解釋ガ出來ナイヤウニ思ハレマスルノデ、ト
云フノハ此華盛頓條約案ソレ自身ガ、是ハ平時ノ
場合ヲ規定シタノデアリマシテ、戰時ノ場合ハ別
ニ條項ニ於テ取り除ケガ出來テ居リマスカラ、大體
ニ於テ是ハ平時ノ規定ト華盛頓條約ハ見テ居ルソ

レカラ流レテ出タ所ノ此今回ノ法律案ハ、是ハ平
時ノ場合ヲ豫想シタモノト云フヨリ外受取レナイ
ノデアリマス、今ハ平時戰時トモ之ニ合シテ居
ルト云フ御説明ノヤウニ聽取リマシタガ、チヨット
私ハ了解出來カネマデスカ、是ハ議論ニナリマ
スカラ知リマセヌガ、山川局長ノ御解釋ヲモウ一
度伺ヒタイ

○政府委員(山川端夫君) 法律ノ問題ニナリマス
ト、私ガチヨット餘リ差出テ申上ゲテモ如何デアリ
マスカラ、別ノ政府委員カラドウゾ御説明ヲ願ヒ
タイ

○政府委員(山岡萬之助君) 法律ノ形式ノコトデ
アリマスカラ、便宜上私ヨリ申上ゲマスガ、他ノ
法律關係ニ於キマシテモ、戰時中ダケ働ク法律ハ
戰時中トカ云フ風ニ明言イタシテ居リマス、此法
律ハドコニモサウ云フ明言ガゴザイマセヌカラシ
テ、適用ハ如何ナル時デモ適用サレルト云フコト
ニ解釋スルヨリ外アリマセヌ、唯併シ此二項ニ於
キマシテ、海軍ノ軍備制限ニ關スル條約ノ規定ニ
依ル義務ヲ履行スル爲ニ必要アル時ハ許可ヲシナ
イノダ、斯ウ云フノデアリマスカラ、平時ニ於テ
ハ先ヅ多ク許可ヲシナイノデアアルノデアリマセ
ウ、戰時ニ於テハ許可ヲスル、許可ノ範圍ガ戰時
ト平時ト變テ來ルノデアリマセウガ、適用ハ兎ニ
角、如何ナル場合ニ於テモ此形デ行ケバ適用サレ
ルモノト解釋スルモノデアリマセウト考ヘラレマ
ス、運用ニナリマスレバ只今申上ゲタヤウニ、第
一條第二項ニ於テ平時ト戰時ニ於テ必ズ異ナルコ
トガアルダロウ、是ハマア海軍大臣ニ於テ取扱ヒ

ニナルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○男爵坂本俊篤君 此法律案ガ平時ニ於テ適用サ
レルカ、戰時ニ於テ適用サレルカ、或ハ兩方ニ適
用サレルカト云フコトハ是ハ洵ニ重大ナコトデア
ルト思ヒマス、今ニ於テ是ハドチラデアアルカト云
フコトヲ決定サレルコトハ、是ハ此法律ノ適用ヲ
受ケル者ニ對シテノ重大ナ利害關係ガアラウト思
ヒマス、ドチカ知ラヌケレドモ、其場合ニ依テ適
用シタラ宜カラウト云フヤウナコトデ、漫然ト之
ヲ看過スルコトハ出來ナイモノダラウト、斯ウ考
ヘマス、ソレニ私ノ考ヘマスルノハ、尤モ此法律案
ナルモノハ大正十二年條約第二號即チ華盛頓條約
ガ其根本ヲナスモノデアリマシテ、其根本ヲナス
モノデ此法律案ガ出來タモノトスレバ、其根本ニ
ナル條約案ハ何デアアルカト云フコトヲ考ヘル必要
ガアル、是ハ總テ平時ニ於ケル場合ヲ規定シタモ
ノデアルト云フコトデアリマスレバ、此法律案モ
平時ノ場合デアルト云フコトヲハッキリ茲ニ決メ
テ置ク必要ガアルダロウト思ヒマス、其場ニ臨ン
デドッチニデモ適用ガ出來ルカラソレデ宜イザヤ
ナイカト云フヤウニ漫然ト看過スルコトハ、私ハ
甚ダ宜シクナイコトデアラウト思ヒマス

○馬場鎮一君 今ノ點ハ斯ウ云フ意味デハアリマ
セヌカ、海軍ノ……、ドナタデモ宜シウゴザイマ
スガ、此法律ハ平時戰時共ニ無論適用サレルモノ
デアアルガ、戰時ノ場合ニ於テハ、條約第十四條ノ
規定ヲ遵奉スル必要ガナイノデアアルカラ、例ヘバ
六吋以上ノ砲ヲ裝備スルト云フヤウナコトガア
ッテモ、無論許可ヲスル積リデ居ルノダ、平時ニ於

テハ六吋以下ノモノデナケレバ、條約十四條ノ爲ニ許可ガ出來ナイ、戰時ニ於テハ許可スルガ、許可ヲ受ケルト云フコトハ變リハナイノダ、斯ウ云フ意味デハアリマセヌカ

○政府委員(男爵安保清種君) サウ解釋イタシテ居リマスガ、此法律ガ戰時ニ於テモ一ツノ法律トシテズ、ト續イテ居ルモノデアルケレドモ、許可ヲ受ケルノガ戰時ニナツテモ受ケナクテモ宜イト云フ意味デナクテ、ヤハリ戰時ニモ許可ヲ受ケテソレヲ許スト云フ、許可ノ所ガ運用ガ出來ル、斯ウ云フ意味ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長(伯爵副島道正君) 外ニ御質問ハアリマセヌデスカ……御質問ガナケレバ是ヨリ討議ニ移リマス、御意見ノアル方ハ此際ドウゾ……

○黒岡帶刀君 私ハ別ニ意見ガアリマセヌカラ、原案ニ賛成イタシマス

○委員長(伯爵副島道正君) 別ニ御異議ハアリマセヌカ……原案ニ賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス

總員 舉手

○委員長(伯爵副島道正君) 満場一致ト認メマス、ソレデハ……

午前十一時四十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵副島 道正君
副委員長 馬場 鏐一君
委員 志佐 勝君
男爵坂本 俊篤君
黒岡 帶刀君

政府委員

鍋島桂次郎君
勝田銀次郎君

説明員

法制局參事官 山本 犀藏君
外務省條約局長 山川 端夫君
海軍次官男爵 安保 清種君
海軍主計大佐 刑部 齊君
司法省刑事局長 山岡萬之助君
海軍省參事官 榎本 重治君